

# テスト音源ツール「OSC」説明書

起動方法：「osc.exe」の実行ファイルをダブルクリック

特定の帯域でのビビリや、スピーカーの再生周波数帯域、ピークやディップなどのクセをチェックできます。

## オシレータ

正弦波を出力します。  
チェックを入れるとON、外すとミュート。  
スライドがボリュームになっています。  
上げすぎると歪みますので、歪まないところで  
ご使用ください。  
(スライドのセンターより右側は歪みやすくなります)  
黄色いリングにある黒いツマミをドラッグして  
回すと、周波数を任意に動かせます。  
黄色いリングをダブルクリックで周波数を数字で  
入力できます。  
鍵盤をクリックすると対応した周波数になります。

## ホワイトノイズ

チェックを入れるとON、外すとミュート  
スライドがボリュームになっています。

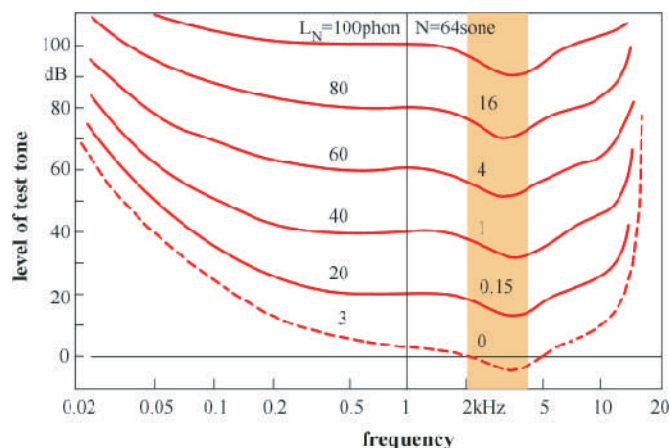
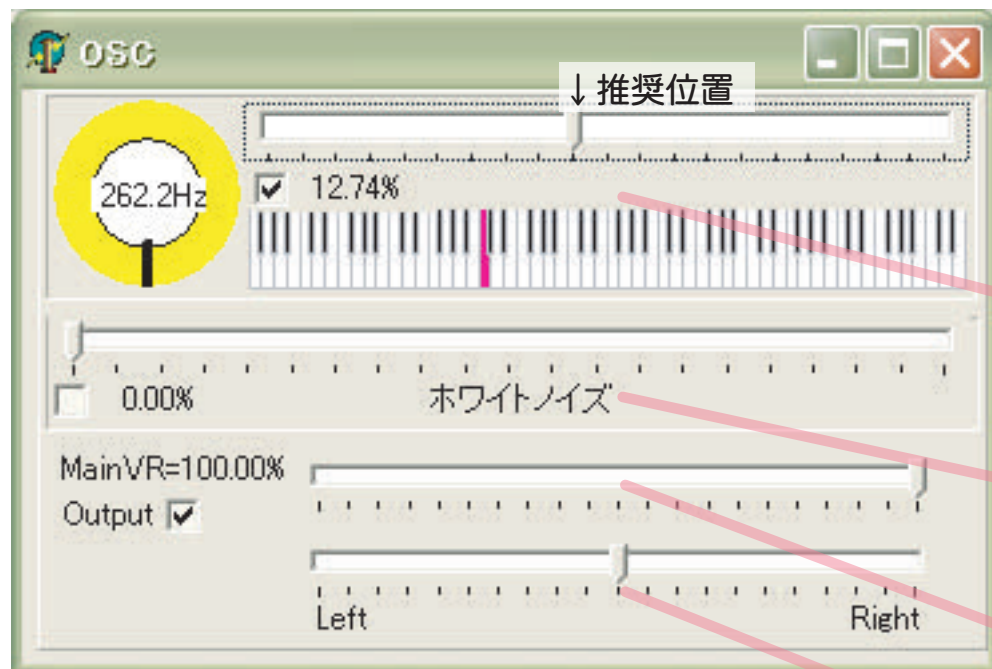
## 全体ボリューム

Outputのチェックを入れると出力、外すと停止。  
スライドがボリュームになっています。

## 左右バランス

### ※注意※

30Hz以下で出力を上げすぎると  
スピーカーに負担がかかり、機器の  
破損につながる恐れがあります。



## 参考資料

### 等ラウドネス曲線

人間の聴感特性をグラフにしたもの。

2～4 kHzが最も聞こえやすく、低音・高音ほど聞こえにくいことを示します。

この特性を踏まえてチェックしてください。

frequency